

宇宙戦略基金(第三期)光・量子センシング説明会に関する質疑応答集

質問内容	回答案
<p>・宇宙戦略基金Q&Aの2-11-3についての確認ですが、「事業期間中に海外の機関(企業・大学)が独自に開発したアルゴリズムや手法が成果として認められた場合、それらの知財はJAXAに帰属するか。」に対して「補助事業の場合:本事業の実施によって実施機関が得た知的財産権については実施機関の帰属となります。」というQ&Aがあります。補助事業において代表機関が連携機関と委託契約を締結する場合、連携機関が発明した知的財産権は、実施機関である連携機関に帰属させる契約にしても良いということでしょうか？</p>	<p>公募要領に記載の通り、国内に研究開発拠点を有し、日本の法律に基づく法人格を有している機関でなければ、実施機関(代表機関及び連携機関)になることはできません。その上で、補助事業において実施機関が発明した知的財産権の帰属先につきましては、実施機関にて取り決めていただいで問題ございません。</p>
<p>技術開発テーマである「衛星応用に向けた光・量子センシング技術」には、「高精度時刻同期技術」も含まれるのでしょうか？</p>	<p>公募要領(p10)にも記載の通り、本テーマの背景には「光・量子センシング技術」と「衛星技術」との融合により、高精度時刻同期の分野において、従来技術では困難であったブレイクスルーへの期待というの含まれています。</p>
<p>Questions: 1. Do we have access to foundry services for Photonics integrated chip and packaging in Japan?</p>	<p>御提案内容に関するお問い合わせにはお答えいたしかねます。公募要領に記載された当該技術開発テーマの目的等をご確認のうえ、貴社にてご検討いただくようお願いいたします。</p>
<p>要望される技術内容を教えてください。たとえば、下記の技術を持っています。 1.量子制約適応型問題分割技術 2.動的リスク連動型QUBO／ハミルトニアン再構成技術 3.QKD(量子鍵配送)による量子耐性セキュリティ技術</p>	<p>要求される技術開発実施内容については公募要領(p13)に記載しておりますので、そちらの方を御参照ください。</p>
<p>連携先をつないでもらうことは可能か？</p>	<p>公募に関する公平性の担保のため、個別の連携先の紹介等は致しかねますので、御了承ください。</p>